

平成31年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：政治理論

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計3ページで6問ある。

1. 政治学
2. 政治過程論
3. 政治思想史

6問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 政治理論 出題分野名 政治学

問題1 選挙制度と政治的リーダーシップの関係について論じなさい。

問題2 日本の国会における委員会制の効果について論じなさい。

科目名 政治理論 出題分野名 政治過程論

問題1 団体が政治過程において及ぼす影響力について論じなさい。

問題2 拡大する財政赤字への政府の対応策について政治過程論の観点から論じなさい。
対応の必要はないと考える場合は、その理由について述べなさい。

科目名 政治理論 出題分野名 政治思想史

問題1 「人間は自然本性的にゾーン・ポリティコンである」というアリストテレスの言葉の意味内容を説明しなさい。また、この言葉が政治思想史に与えた影響について、論述しなさい。

問題2 I・バーリンによる「消極的自由」と「積極的自由」の区別について、説明しなさい。また、それを踏まえつつ、現代における政治的自由のあり方について、あなたの見解を論述しなさい。